

海と森がであうところに。

—海の道〴〵日本海〴〵と〴〵北国の森〴〵の間に

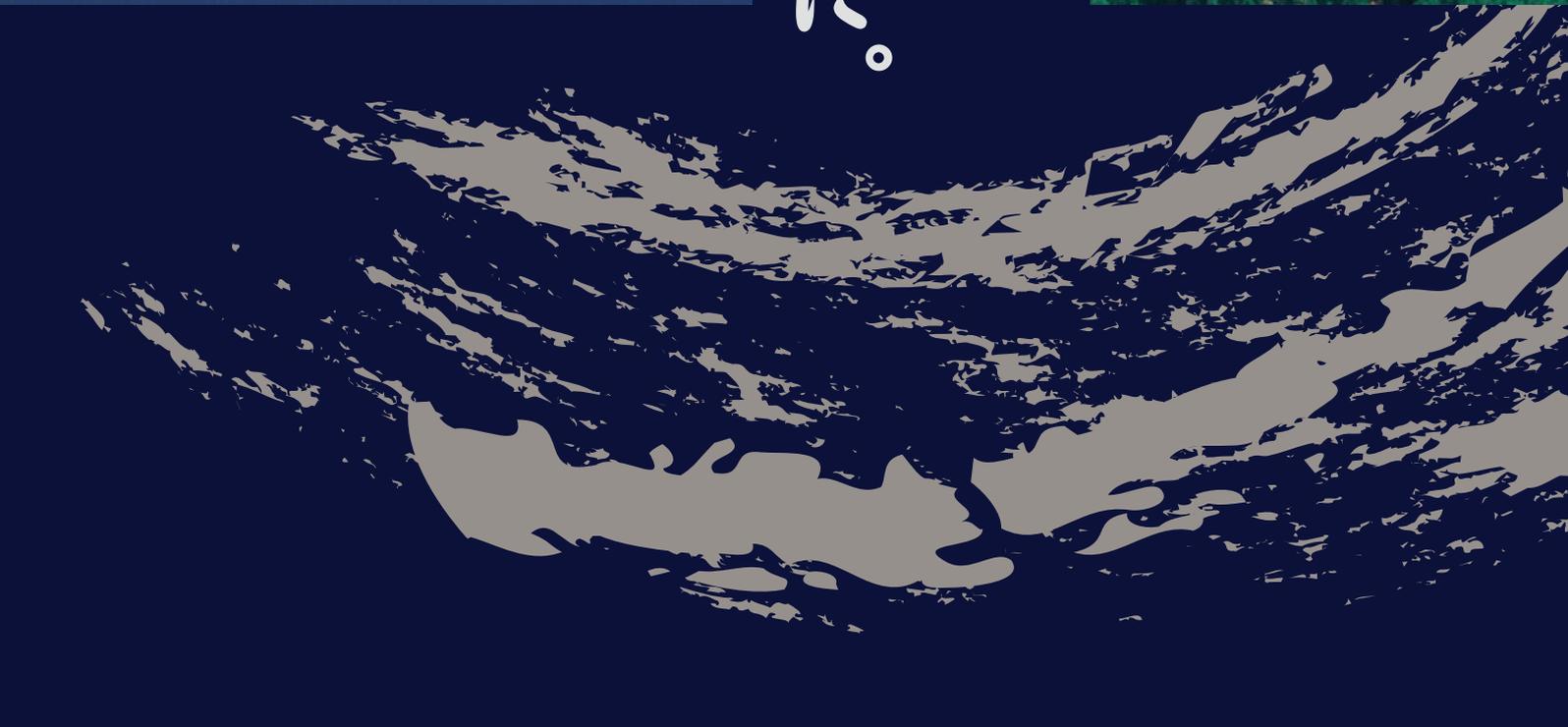
上ノ国の歴史は

海と森がであうところに始まった

海の道〴〵日本海〴〵が生み育てた歴史が

やがて、まらとを北方交易の一大拠点にした

戦国乱世の時代を経て幾百年



いまなお、日本海の波濤は

その波間にいにしえを語りながら

変わることもなく寄せては返す

まら潤した豊穡なる海

そして北国の森に

私たちは今歴史の声を聞く



上ノ国町は、豊かな緑と海に抱かれた農林漁業を基幹産業とした町です。本町は、今を遙かに遡る中世の時代に海の豪族たちが荒々しい日本海を介して渡来してから800有余年になりますが、今日まで、あらゆる困難を克服して、住みよい郷土の礎を築いてこられました先人の尊いご苦勞を忘れてはなりません。その偉大な足跡を受け継ぎ、さらに活力ある住みよい地域社会の創造をめざして、町民の皆さんとともに懸命に努力してまいります。

「温故知新」故きを温ね、新しきを知る。この言葉を「温故躍進」に置き換え、古い歴史と伝統の中から本町のさらなる躍進のため、フロンティア精神を大いに発揮し、本町に生きるだれもが誇りと希望を持ち、真に豊かさの実感できるまちづくりに全力を尽くしてまいります。

本町の一層の発展のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月